



機械科通信

酒田光陵高校機械科

第 1 号

平成 27 年 2 月 25 日

◆富士電機エフテックさん来校、技術指導

2月17日・18日の2日間、富士電機エフテック（株）の技能五輪指導員及び選手の方達が来校されました。目的は、富士電機エフテックに内定し、技能五輪候補選手として春から活躍が期待される小林君（機械科3年）の指導を行うためです。富士電機エフテックさんは技能五輪の上位入賞常連企業で、H27年大会では優勝を狙えるレベルの選手がいます。小林君もその大会から参加予定で、少しでも早くレベルを上げてほしいということで、わざわざ3名も来校してくれました。今回は『やすりのかけ方』を中心とした内容で、機械系の先生方も一緒に指導を受けました。来校された1人は「現代の名工」として表彰を受けられた方で、本物の技術を目の当たりにし、先生方もただただ驚くばかりでした。やすりの選び方や修正の仕方、やすりをかけるフォーム、面の出し方など教科書には載っていない、現場で培った技を教えてもらいました。小林君はもちろんのこと、機械系の先生方もとても勉強になる2日間でした。H28年大会は山形が会場になります。そこで、成長した小林君が会社の代表として日本一に輝くことを期待したいと思います。



がんばれ！技能五輪！

◆先輩の講話が行われました

2月20日に先輩の講話が本校の公益学習室で行われました。講話をしてくれたのは、平成21年3月に酒田工業高校の機械科を卒業した『佐藤 光さん』です。佐藤さんは高校を卒業後、日本大学工学部に入学し、現在は酒田共同火力発電（株）で発電の効率を管理する仕事に就いて活躍しています。講話の内容は、「早めに進路目標を決め、多くの情報を先生や先輩などから集め、しっかり準備期間をつくるのが大切」、「積極的に行動する力や自分で考える力など企業で活躍するために必要な力を身につける」など約20分間にわたり工業科2年生のために話してくれました。高校時代と大学時代ともにテニス部のキャプテンとして活躍した経験も、就職決定に大きく関係があると言っていました。大学時代は、毎日午後4時から9時まで練習し、その後、レポートや製図の課題、授業の予習・復習など忙しい毎日を過ごしたそうです。そういった経験が企業から求められる人材と合致したようです。また、最終的に企業を決めたのは、東日本大震災を福島県いわき市で経験し、生活には欠かせない電気を供給する仕事に就きたいと思ったからだそうです。人はどこでどんな経験をするかわかりませんが、佐藤さんの場合は大学でその経験をしたことによって目的が定まりました。皆さんもいろいろな経験の中から自分がやりたい仕事、自分が進みたい道を見つけ、進学・就職に向かっていきましょう。

